



三重中央だより

当院の理念(Principle) ● いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。



テーマ

三重中央医療センターの 次世代リーダーシリーズ

1

循環器内科 医師 新谷卓也

私は平成11年、岐阜大学医学部を卒業、大学病院での丁稚奉公を終えるとすぐに岐阜市の800床ある救急病院に配属になりました。私の恩師は、「教科書なんか読むな。治療方法は全て患者さんが知っている」といいました。ずいぶん乱暴な言い方だと思いながらも、一人前の循環器内科医を

目指して昼夜無く患者さんにへばりつきました。重症心不全の患者さんの尿道バルーンから流れ落ちてくるおしっこを眺めながら翌朝を迎えたり、一晩中モニター心電図の御守りをしたりもしました。

当時、循環器内科の花形といえば、狭心症や心筋梗塞のカテーテル治療。細くなった心臓の血管をバルーンで膨らませる治療です。治療器具が



心臓カテーテル中

どんどん進化して、どんな初心者でも簡単に同じ治療ができる（治療の標準化）ようになってゆきましたが、恩師は「テクノロジーに頼るな」と新しい器具を使わせてくれませんでした。

「ソーンズ」というシンプルな形をした（使い勝手の悪い）カテーテルとすこぶる通りの悪いバルーンだけでトレーニングを積みました。うまくできないとすぐに先輩医師にカテーテルを取り上げられて、担当している患者さんの目の前で叱られました。後でその患者さんに「まあ、先生がんばんなよ」とよく励まされたものです。

昼間はカテ室で放射線を浴び、夜は患者さんのベッドサイドでおしっこやモニターとにらめっこ。そんな楽しくも軍隊のような10年間の修行でちょっとだけ心は強くなりました。恩師の教えは「安直に答えを求めず自分の頭で考えろ」ということだったと、今なら前向きに理解できます。

そんな黒歴史を胸に、平成21年に故郷の津に逃げ帰ってきて三重中央医療センターに赴任しました。暖かく迎え入れていただき、自由に仕事をさせてもらっています。今までどおりカテーテル治療に携わる傍ら、大阪の国立循環器病センターへ不整脈診療の研修の機会をいただきました。

日本の循環器診療をリードする施設です。そこではアブレーションという方法で心房細動（脑梗塞の原因となる不整脈）を根治する治療法を学びました。放射線技術やコンピュータを駆使した最先端の治療法ですが、そんなテクノロジーに頼り切って当院でアブレーションを実践しています。

さて、テクノロジーと自分の技術だけでは医療は展開できません。これまで看護師や薬剤師、栄養士、臨床工学技士、理学療法士、ソーシャル・ワーカーなど、彼らにどれだけ助けられたことか。頼りない私が何とか事故無くやってこれたのは、それぞれ深い知識を持ったコメディカル（医療スタッフ）の助言や問題提起があってこそ。彼らとしっかり連携して医療を行ってゆくのが、現在クローズアップされている「チーム医療」です。当院でも様々なチームが動いていますが、その中で私は心臓病の患者さんを対象とした心不全チーム、心肺蘇生法の普及と院内の急変時に対応するACLSチーム、災害時の対策を病院規模で考える災害医療チーム（委員会）などに参加させて



心不全チームのカンファレンス

もらっています。

自分の働くこの病院がより楽しい場所になるようにと、「ミエチュウオウ文化祭」を企画しました。地域の皆さんに気軽に足を踏み入れてもらえる様に、入院中の患者さんが少しでも文化的なものに触れて心休まる様に、病院職員が家族ぐるみで楽しめる様にと、毎年趣向を凝らしています。4回目を数える今年は附属看護学校と合同でより規模を拡大して10月28日開催です。

恩師、患者さん、医療スタッフ、同僚や後輩、たくさんの人々に支えられて、何不自由なく健やかに昨年本厄を乗り切りました。こんな自由な私

を放し飼いにしてくれる三重中央医療センターに感謝しています。この勢いで厄払いもせずに後厄を蹴散らしていこうと思います。どうぞ生暖かい目で見守ってやってください。



推薦文



地域に貢献できるように

外来診療部長（循環器内科） 川崎 敦

循環器内科の川崎です。

循環器内科についてご説明すると共に、当科の「名医」の新谷先生を紹介いたします。

循環器内科は、血液を体に循環させるポンプと管である心臓や血管を扱っています。

たとえば心臓のリズムが乱れる不整脈、胸が痛くなる狭心症や心筋梗塞、心臓が原因で息苦しくなったりする心不全、静脈の血栓など血管に問題が起きているときに対応します。

検査としては心電図で心臓のリズムを調べたり、心臓超音波検査で心臓の状態や働きを調べたりします。血管については超音波で血管の細さや血栓を調べたり、CTで心臓の血管や大きな血管の状態を見ることがあります。さらにカテーテルという細い管を使って、心臓の血管や不整脈を調べたりもします。

治療としては内服のみではなく、狭心症や心筋梗塞などの冠動脈へのカテーテル治療や不整脈へのカテーテルアブレーション治療やペースメーカー治療を行います。

これら治療は急性心筋梗塞などの重篤な疾患に対して迅速に行わなければいけません。当院ではそのような患者さんに対して24時間対応しており、新谷先生は着任以来、夜間でも積極的に心筋梗塞などへの緊急カテーテル治療を行ってもらっています。

また当院ではいろいろな不整脈への治療に対して、積極的にカテーテル治療を行う方針で、昨年は50例の患者さんに対して、カテーテルアブレーション治療を行いました。この治療については、全て新谷先生に担当してもらっています。

このような治療だけでなく、心疾患のリハビリテーション、院内の心肺蘇生や災害対策なども積極的にリードしてもらっており、当院の名医といえるでしょう。



臨床研修診療部長(循環器内科) **田中 淳子**

医療の進歩によって、今まで治せなかったものが治せたりするようになってきました。それは、薬剤の開発によるものでもあります。非薬物治療の進歩によるところも大きく、循環器内科の領域では、特に不整脈の分野で、ペースメーカーや植え込み除細動器に加え、アブレーションなど根治的な治療も可能となり、治療の選択肢が増えています。それに伴い、循環器内科の中でも、分野が細分化され、それぞれに専門的な知識や技能が必要な時代になってきました。新谷先生は、当院における不整脈部問には、なくてはならない存在で、私たちもとても頼りにしています。安心して任せられる、安心マーク付き(笑)です。



循環器内科 **中久木 哲也**

三重中央医療センターへ赴任して7年以上経過しました。
気がつけば今までで一番長く勤務した病院となりました。
今後も津久居地区の医療に貢献できるよう、謙虚に誠実に患者様に接していけるよう努力していく次第ですので、よろしく願いいたします。



循環器内科 **武内 哲史郎**

2016年4月から三重中央医療センターで勤務させていただき、1年が経過しました。
循環器専門医として循環器疾患にも関わりながら、糖尿病内科で糖尿病臨床研修も受けさせていただいております。糖尿病内科と循環器内科の架け橋となって、患者様のお役に立てるように日々頑張りますのでよろしくお願いいたします。

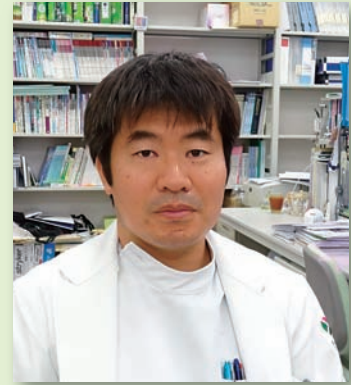


循環器内科 **小野 隆裕**

医師3年目の小野隆裕と申します。今年の4月からこちらの循環器内科に働かせていただいております。循環器内科は急病の患者様が多く、また入院患者様の急変も多いため少し忙しいですが、毎日学ぶことが多く、充実した毎日を送らせていただいております。
三重中央医療センターは病棟スタッフも温かく、経験が浅く病院にも不慣れな私にとっては大変働きやすい職場です。早く一人前になれるよう毎日大切に過ごしたいと思います。

赴任された先生方

はじめまして、H29年5月1日より整形外科に赴任いたしました山口敏郎と申します。今までは三重県内の病院で四肢の外傷、股関節や膝関節の人工関節を主に診療をしてきました。整形外科分野では、骨折や筋腱損傷による外傷や関節の変形、骨粗鬆症などが生ずることにより日常生活が著しく障害される可能性が考えられます。その機能改善できるように最近の知見を取り入れながら、微力ながらも日々の診療を頑張っていこうと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



整形外科
山口敏郎



山下 修平

こんにちは。専門・認定看護師です

シリーズ 4

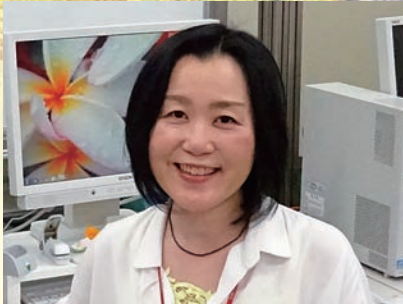
● 摂食・嚥下障害看護認定看護師 ●

最期まで「口から食べる」ことは、人が生きていくために栄養をとるためだけでなく、おいしいものを味わうことの喜びや、人とのつながりを持つなどの生活の楽しみでもあります。しかし、病気や高齢によって食べることに何らかの支障をきたし「食べる」ことで“窒息”や“誤嚥”などのいろいろな危険が起こる可能性があります。

私は、摂食・嚥下障害看護認定看護師として、脳神経外科・神経内科病棟に所属しており、食事の工夫や食べる姿勢、食べる量の見極めなど安全に食べるためのサポートや訓練などを行っています。また、専門的知識を活かして、栄養サポートチームの一員として栄養状態に問題がある患者さんの“栄養回復”に向けたサポートを行いながら、多くの患者さんの“食べたい”という願いや“おいしい”という喜びに応えられるように患者さんをサポートしていきたいと思っています。“食べる”ということに困っていることがありましたらお気軽に声をかけてください。

我が故郷

津・白山



外科秘書
早嶋 洋子

両親の故郷である緑豊かで自然に恵まれた白山町に引越し、七人家族になったのは七歳の春でした。転校生としてのスタート、どこか馴染めなかった私はバレーボール部に所属し練習に明け暮れ過ごしていました。

白山町には一九四〇年に創設された国立療養所静澄病院があり、病院名はよく耳にしていました。初めて訪れたのは面接の日で、病院は「静澄」というイメージ通りの環境の中に在りました。新しい仕事も覚える事も出会う方々も何もかもが新鮮で、失敗しながら多くの学びを得られた貴重な月日を過ごしました。そして一九九八年七月、津病院と静澄病院との統合により現在の地へ移転し三重中央病院と改称されました。当時は不安や緊張よりも期待感が大きく、前途洋々とした気持ちでいたのも束の間、木っ端微塵に吹き飛ばされた開院初日、紆余曲折ありいろんな思いをかみしめた日々は遠い記憶です。

離れていた故郷へ戻る事になり、久しぶりに友人が訪ねてくれました。彼女は当院で勤続している心強い存在です。彼女との再会で扉が開き再入職が決まった事、家族も一緒に喜んでくれました。

時代が流れ、学校事務に携わっていた頃の学生達が看護師となり活躍している姿を院内で見かける度に頼もしく感じます。当院の一員として誇りを持ち、地域の皆さんとの大切なご縁をつなぎ、「地域に生き、地域と生きる」当院の魅力発信に貢献できればと考えます。

今回、いろんな視点で振り返る機会を頂き感謝しております。ありがとうございました。



輝くメディカルスタッフたち

医師、看護師以外でも、多くの専門性を持ったスタッフが当院院内で活動しています。その人と仕事にスポットを当てて紹介します。

管理栄養士 佐藤 友香

だんだんと暑い日が続き、夏本番となってきましたが、皆さん夏バテはしていませんか？暑さからつい冷たい物ばかり食べてしまったり、食事回数が不規則になったりと食事リズムが乱れることは、より身体のバランスを崩してしまいます。

私たち管理栄養士は、赤ちゃんから大人まで全ての人に必要とされる“栄養管理”に携わっています。赤ちゃんでは、出産予定日より早く生まれた場合や小さく生まれた場合は、栄養不良に陥るリスクがあり、離乳食が進みにくいことがあります。一方、大人では食べすぎや生活リズムの乱れから生活習慣病に陥る方、摂食機能の低下等により低栄養に陥る

方がみえ、一口に“栄養管理”と言っても患者様への指導内容および提案内容は様々です。

管理栄養士は、全ての人に必要とされる“栄養管理=食”に携わる最も身近な職種として、患者様の身近にたつてよりよい栄養管理を考えていかなければなりません。

これからも、患者様一人一人に適した栄養管理のご提案ができるよう、患者様の声を聞き、多職種と連携をしながら、日々努めていきたいと思っております。



「里山こころの便りー柎原の窓から」

第10話 落ち着かない子ども

私は単身赴任で自宅は福岡にあります。家内は孫を預かることが多く三重に来る機会がありません。孫がくると可愛らしいのですが、豆台風で全ての遊び道具が一面に散らばり、本人なりの遊び方があって片付きません。片付けも不得意でしかりつけても効果はありません。子どもとはそんなものとも言えますが、はて注意欠陥多動症候群（ADHD）ではとふと頭がよぎります。ではADHDとはどのような状態を示すのでしょうか。年齢不相応に出現する不注意と多動性、衝動性に特徴つけられます。7歳、場合によれば12歳まで待ってから診断を確定します。不注意は忘れ物が多い、物をなくしやすい、気が散る、片付けが苦手、集中しづらく興味のあることは集中しすぎて切り替えができないなどとして表れます。多動性は落ち着いてじっと座ってられない、そわそわして身体を動かす、過度なおしゃべり、静かにすべき場所をわきまえられないなどの特徴です。衝動性は順番が待てない、気に障ると直ぐ乱暴になる、会話の流れを気にせず思いついたら直ぐに発現する、他の人の邪魔をしたり、自分がしてしまうなどです。子どもは成長の過程でこのような傾向を持っていても小学校に上がる頃には段々と落ち着いてきますが、持続している場合にADHDを疑います。特に養育環境に問題がないにもかかわらず出現する場合がありますが、不適切な養育が原因となることもあります。前者は専門家が診断したのちに薬物療法が効果的ですが、後者は養育を見直すことが必要です。



村上 優

柎原病院
院長



薬事日報に掲載

今回、日本環境感染学会で発表した「薬剤師の手指衛生に対する意識向上を目指した取り組み」という演題を、「薬事日報」という薬剤師向け新聞の記事でご紹介いただきました。

薬剤師は従来、医療従事者の中でも患者さんに直接触れる機会が少なく、手指衛生の概念が浸透していない部分がありました。今回の取り組みによって意識向上を図ることができ、それをこうして取り上げて頂いたことは、非常に光栄です。今後も活動を継続し、医療安全に努めていきたいと改めて感じました。



薬剤師 松田 明里紗

第4回

ナイチンゲールフェアを開催しました

日時：5月20日（土）10:00～15:00

今年はベイスクエア 津ラッツ の店舗をお借りして開催いたしました。

天候に恵まれご来場の皆様には「すごい！ラッツでこんな催ししてるんだ！」と喜んでいただきました。

恒例となりました『健康チェック』や『白衣を着ての写真館』『なりきりドクター（手術体験）』は、今年も大好評をいただきました。

地域の方々の健康に対する関心の声を聞くととても良い機会となり、スタッフ一同ご来場に感謝いたします。

ありがとうございました。



事前申し込み
不要

出前！市民公開講座のお知らせ

入場無料

7月11日(火) 津リージョンプラザ 健康教室 15:00~16:00

・テーマ：食事で元気！生活習慣病を予防する食生活

講演：管理栄養士 金子 康彦

新規開設のお知らせ

6月より形成外科および乳腺外科が新たに診療開始となりました。



消化器内科よりお知らせ

2017年6月より下部（大腸）内視鏡検査が
かかりつけ医からの予約で当日実施が可能
となりました。



■受診方法等、詳しくは地域医療連携室にお問い合わせください。

「クローバー友の会」 会員募集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な
気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足し
ました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいた
します。登録は無料です。会員には当院から健康に関す
る様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。
登録と同時に会員証をお渡しいたします。

たくさん勉強していただいた方には素敵なプレゼント
があります。

記入いただいた個人情報は本会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター 地域医療連携室



会員にご登録いただきありがとうございます。
講演会に参加したことに1スタンプ押印いたします。
(スタンプ数による特典は別冊に記述いたします。
特典は変わることがあります。)

■会員名

住所 _____

氏名 _____

電話 _____

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

編集 後記

今年も早いもので半年が過ぎました。
年々月日の経つのが早く感じるのはわたくしだけでしょうか（苦笑）
三重中央だよりは今月号から次世代を担う若きリーダーをご紹介させていただくこととなり
ました。
次世代リーダーの元、仕事に携われることを嬉しく思っています。
これからも皆様に様々な情報発信をしままいります。乞うご期待！ (山)

発行所

三重中央医療センター
院長 霜 坂 辰 一

三重県津市久居明神町2158番地5
TEL. 059-259-1211
http://www.hosp.go.jp/~nmch

●●● 三重中央医療センター連携医療機関紹介 ●●●●●●

しばた小児科医院



こんにちは。院長の柴田丈夫です。鈴鹿市白子で開院して12年になります。それ以前は三重県立総合医療センターに勤務していました。小児科医になりもう直ぐ40年です。歳はとってきていますが（実は外科の横井医師と同期です）気持ちは若い。地域の子供達やその親御さんに、安心、安全、丁寧な診療を提供できるよう微力ではありま



すが益々頑張っています。三重中央医療センターとは、NICUを退院した鈴鹿市在住のお子さんの、日頃のフォローアップを依頼していただいております。

当院紹介サイト

1) CityDo!

<http://www.citydo.com/prf/mie/guide/sg/303000803.html>

2) 鈴鹿中央総合病院 地域連携室

http://miekosei.or.jp/2_sch/renkei/info223.htm

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
AM 9:00 ~ 12:00	○	○	○	△	○	○	△
PM 3:00 ~ 6:30	○	○	○	△	○	△	△

△PM3:00 ~ 5:00

乳児健診は火・土曜日です。予約制になっています。予防接種は予約が要りません。直接ご来院ください。

大西内科



当院は松阪市内で内科、呼吸器科を標榜する無床診療所です。

看護師2名、事務員2名のスタッフと共に、日々の外来診療および在宅訪問診療を行っています。患者さんが気軽に何でもお話しできる雰囲気

の診療所であることを心がけています。

当院では対応が困難な重症例や、精査が必要な患者さんにつきましては三重中央医療センターをはじめ近隣の総合病院に紹介させていただいております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

院長：大西 正浩
診療科目：内科、呼吸器科
住所：〒515-0045 松阪市駅部田町232
電話：0598-23-4060 FAX：0598-26-7477
休診日：木曜午後・日曜日・祝祭日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○	△
15:00 ~ 18:00	○	○	○	△	○	△	△

土曜午後：14:00 ~ 17:00



当院は、地域医療支援病院・地域がん診療連携病院の指定を受け、老人保健・訪問看護ステーションを併設し、JCHOが掲げる「地域医療・地域包括ケア連携の要となる使命」の遂行を目指しています。最先端医療機器の先駆的導入、大腸肛門病・

IBDセンター、糖尿病センターなどの開設により地域住民や医師会に向けて可視化した運営を行っており、超高齢化社会の到来に備え、平成27年4月、地域包括ケア病棟を開設しました

院長：住田 安弘
 住所：〒510-0016 三重県四日市市羽津山町10番8号
 電話：059-331-2000（代表）
 F A X：059-331-0354
 診療科目：内科、小児科、外科、肛門外科、整形外科、婦人科、眼科、泌尿器科 放射線科、循環器内科、消化器内科、消化器外科、麻酔科、耳鼻咽喉科 皮膚科、精神科、呼吸器外科、緩和ケア外科、リウマチ科
 受付時間：8：00～（曜日によって受付時間が異なる診療科あり）
 ※詳しくは病院ホームページをご覧ください。

やまかみ内科クリニック



平成20年9月に津市河芸町の地に開業し今年で9年目になります。一般内科、呼吸器科、消化器科を中心に診療していますが、当院は若い方からご高齢の方まで気軽に受診していただけるかかりつけ医を目指しており、患者さんの身近にあって病気の相談を受け、必要なときには三重中央医療

センターや近隣の病院に紹介するようになっています。その他、各種健康診断、特定検診、津市がん検診、上部消化管内視鏡検査も行っております。アットホームな雰囲気を大事にしながら頼りにされるかかりつけ医となるように頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

院長：山上 知也
 診療科目：一般内科、呼吸器科、消化器内科
 住所：〒510-0305 津市河芸町中別保314-1
 電話：059-245-0024 FAX：059-245-6862
 休診日：木曜日、日曜日、祝祭日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8：30～12：00	○	○	○	△	○	○	△
15：00～18：30	○	○	○	△	○	○	△



外来診療担当表

平成29年7月1日現在

診療科名等		月	火	水	木	金	
初診内科 (初診・予約外)	1診	井端 英憲【呼】	大本 恭裕【呼】	中久木 哲也【循】	田中 剛史【糖】	川崎 敦【循】	
	2診	竹内 圭介【消】	武内 哲史郎【循】	岡野 智仁【呼】	田中 淳子【循】	後藤 浩之【糖】	
	3診	新谷 卓也【循】	倉田 一成【消】	田口 由紀子【消】	渡邊 典子【消】	北出 卓【消】	
	4診		奥田 昌也【糖】	渡邊 麻衣子【糖】	西村 正【呼】	内藤 雅大【呼】	
	(整形3診)				吉川 恭子【消】		
再診内科 (再診予約のみ)	呼吸器内科	5診			井端 英憲(午後再診)		
	循環器内科	5診	田中 淳子	川崎 敦	中久木 哲也(午前再診)	武内 哲史郎	
		(整形3診)				北村 政美	
	呼吸器内科	6診		井端 英憲	大本 恭裕	大本 恭裕	
		(整形1診)		藤本 源			
	消化器内科	7診	子日 克宣	北出 卓	渡邊 典子	倉田 一成	竹内 圭介
	内科	5診			井田 紗矢香		
		8診	中久木 哲也【循】	新谷 卓也【循】	後藤 浩之【糖】	田口 由紀子【消】	新谷 卓也【循】
		9診	後藤 浩之【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】	田中 崇【糖】	田中 剛史【糖】
		10診		子日 克宣【消】	内藤 雅大【呼】	奥田 昌也【糖】	岡野 智仁【呼】
	(整形2診)			渡邊麻衣子【糖】			
神経内科	1診	北川 長生	北川 長生	北川 長生	掃部 俊貴	北川 長生	
	2診	掃部 俊貴	賀川 賢	賀川 賢	賀川 賢	吉丸 公子	
	3診				村賀 香名子		
小児科・新生児科 (初診・再来初診は紹介のみ) (NICUフォロー発達外来は予約のみ)	午前	1診	井戸 正流	小川 昌宏	井戸 正流(初診)	田中 滋己	田中 滋己(初診)
		2診	盆野 元紀	盆野 元紀	山川 紀子	盆野 元紀	NICU連携外来
		3診	田中 滋己	田中 滋己(初診)	山本 初実(予約)	井戸 正流(初診)	小川 昌宏
		4診(発達外来)	杉野 典子	山川 紀子	杉野 典子	杉野 典子	発達支援
	午後	1診	NICUフォロー	NICU乳児健診(交代制)	伊藤 雄彦(奇数週) 内園 匡匡(偶数週)	田中 滋己(奇数週)	佐々木 直哉(偶数週)
		2診	盆野 元紀	杉野 典子(2週間・1ヶ月健診)	杉野 典子	盆野 元紀	盆野 元紀(内分泌・成長外来)
		3診	小川 昌宏	山下 敦士(心工コー外来)	山本 初実	小川 昌宏(奇数週)	シナジス外来(交代制)
	4診(発達外来)	杉野 典子(奇数週)	発達支援	発達支援	発達支援	発達支援	
総合診療科					近藤 諭		
外科	1診	湯浅 浩行	谷川 寛自	横井 一	信岡 祐	谷川 寛自	
	2診	横井 一		松田 明敏			
	(泌尿器1診)	信岡 祐(午前)					
緩和ケア外来(予約・紹介のみ)						谷川 寛自	
乳腺外科(予約のみ)						野呂 綾	
整形外科 (予約・紹介のみ)	1診	田中 雅		高北 久嗣		田中 雅	
	2診	高北 久嗣		山口 敏郎		山口 敏郎	
	3診	上田 幸広		上田 幸広			
形成外科				石浦 良平			
脳神経外科	1診(初診)	石田 藤麿	岸本 智之	谷岡 悟	田中 克浩	石田 藤麿	
	2診(再診)	霜坂 辰一	石田 藤麿	霜坂 辰一	谷岡 悟	田中 克浩	
脊椎・脊髄外科(予約・紹介のみ)			*水野 正喜	*診療時間は10:00～14:00までとなります。			
呼吸器外科			安達 勝利		樽川 智人	安達 勝利	
心血管外科		浦田 康久		佐藤 友昭		日置 巖雄	
皮膚科*(予約・紹介のみ)		中西 朝子	三重大学医師(再診)	中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	
泌尿器科	1診		加藤 雅史	加藤 雅史(初診)	加藤 雅史	加藤 雅史(初診)	
	2診		岩本 陽一(小児・初診)	岩本 陽一	岩本 陽一(小児・初診)	岩本 陽一	
産科・婦人科	午前	1診(初診)	前川 有香	日下 秀人	前田 眞	吉村 公一	前田 眞
		2診(婦人科再診)	前田 眞		吉村 公一	森下みどり	日下 秀人
		3診(産科再診)	森下みどり	手石方 康宏	前川 有香		手石方 康宏
		4診(助産師外来)	毎日、完全予約制(担当は交代制)				
	午後	1診(産科再診)	前川 有香	日下 秀人	前川 有香	吉村 公一	
		2診(婦人科再診)			吉村 公一		日下 秀人
	3診	助産師外来	産後一ヶ月健診	助産師外来	助産師外来	助産師外来	
眼科(予約のみ)		三重大学医師		三重大学医師			
耳鼻咽喉科	午前		伊藤 由紀子(再診予約のみ)	伊藤 由紀子(初診)	伊藤 由紀子(初診)	伊藤 由紀子(再診予約のみ)	
	午後(再診予約のみ)	伊藤 由紀子	中耳外来		中耳外来		
放射線科(7ブロック)		奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	
リハビリテーション科		山口 敏郎	田中 雅	田中 雅	田中 雅	上田 幸広	
歯科・歯科口腔外科		柳瀬/加藤	柳瀬/加藤	柳瀬 成章	柳瀬/加藤	柳瀬/加藤	
看護外来(予約のみ)		第1月曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	第3火曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	糖尿病外来 がん看護相談外来	ストーマ外来 がん看護相談外来	*フットケア外来 がん看護相談外来	

*初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30～11:00までです。 *医師の人事異動・出張等により臨時に代診(休診)となる場合があります。
*本院のような急性期病院は、病棟入院患者様の処置、手術、検査、回診等があり、外来診療に制限を設けなければならない診療科もあることを御理解ください。

不整脈専門外来	肝炎外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精査	ものわずれ外来	未破裂脳動脈瘤の相談 要予約(自費)
月・火曜日 午前診療	月曜日 午前診療	月・火曜日 午前診療	月・火・水・金 午前診療	金曜日	金曜日 午前診療
循環器内科(新谷)	消化器内科(竹内)	呼吸器内科	呼吸器内科	神経内科(吉丸)	脳神経外科(石田)
脊椎・脊髄外科専門 (予約・紹介)	肺癌・良性肺腫瘍・ 気胸・縦隔腫瘍・膿胸	中耳外来 (予約)	プレママ外来	おっぱい外来 (予約)	乳腺外科 (予約)
火曜日 (10時～14時)	火・木・金 午前診療	火・木曜日 午後診療	月・木曜日午後 火曜日午前診療	月・木曜日 午前診療	金曜日 午後診療
脊椎・脊髄外科(水野)	呼吸器外科	耳鼻咽喉科(伊藤)	産科・婦人科		乳腺外科(野呂)